

感動は2倍以上! 組み立てキット LabKIT

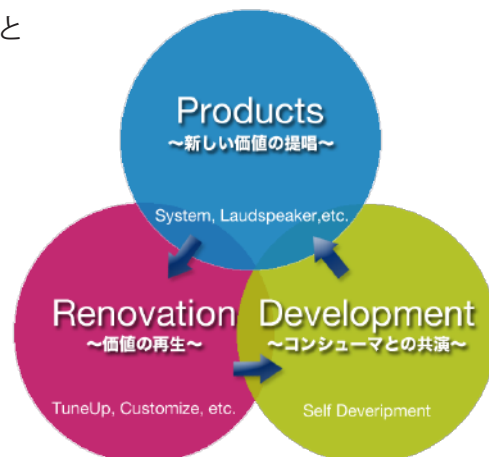
株式会社タイムドメインラボは、タイムドメインスピーカーのしくみを理解しながら、本格的なタイムドメインサウンドを自らの手で創り出せる、LabKIT（ラボキット）SPK-080 を発売します。



ユーザー自身が本格的なパーツをそろえることはなかなか困難なことです。しかしLabKITを利用することで、誰もが本物のパーツを手に取り、自分専用のスピーカーをつくるできるようになります。このことによって、これまでの受動的な感動に能動的な感動が加わります。

さらに構成パーツを変更したり追加したりすることで、世界にひとつだけのスピーカーを創造することも可能となります。

今までタイムドメインがほとんど手を付けていない分野でしたが、タイムドメインとユーザーが刺激し合うことで、次の新しい芽が出るのが期待されます。



価格は79,800円（税込）です（JAN4562486580057）。

キットを構成する、各パーツ単体での販売も予定しています。

LabKIT SPK-080 の特徴

1. スピーカーユニットに弊社オリジナル H080D-AF を採用

アルミダイキャスト製フレームをおごる H080D-AF。その振動板の直径は同じ呼び口径のスピーカーユニットに比べて小さくなっています。円板の全面等分布荷重では、たわみは半径の 4 乗で、応力は 2 乗で効くことからわかるように、振動板の小径化による原波形再現性は、その見た目以上のものとなります。

2. アクリル製透明シリンダー

筒の材料は透明なアクリル製で、内部の構造がひとめでわかります。またアクリルは適度な硬さ、ロスをもっているため、極端に吸音材に頼る必要がありません。

3. 仮想グラウンド

タイムドメインコンセプトには欠かせない仮想グラウンド。ここに吸音材となるウール生地を巻き付けています。そして、H080D-AF の仮想グラウンド取付穴を利用してスピーカーユニットと一体化しています。

4. 鋳造ベース

重さ約 1.8kg の鋳鉄製のベースが、パイプを 6 点でしっかりと保持します。そのベースを床と最小接点となる 3 本の脚で支えます。これはパイプの振動が床に伝わりにくくするためです。

5. 3D プリンターで造形したディフューザー

パイプの底部をおおうフタで、吸音材を固定するとともに空気の流れる量をコントロールします。

タイムドメインコンセプトとは

周波数領域・音量だけでなく、時間領域・波形をも深く探求するアプローチです。

従来、オーディオ製品は、主として周波数特性で評価され、大口径スピーカー等による大音量が追及される傾向にありました。しかしながら、非線形の系を介して、非定常信号を取り扱うオーディオにおいては、周波数応答の考え方だけでは不十分です。さらに、量と質とは根本的に異なる尺度であって、質の追及には必ずしも量がともなわなくても構いません。

このように時間領域に深く切り込み、そして徹底的に原波形の忠実再生を図ろうとするのがタイムドメインコンセプトなのです。

商品の詳細は専用サイト <http://labkit.jp> をご覧ください。

ご不明な点は (株) タイムドメインラボにお問い合わせください。

電話：072-697-0150

FAX：072-697-0151

Eメール：support@timedomain-lab.co.jp